

滋賀県議会議員

きり た

桐田まこと

県政報告

Vol.3



11月定例会議一般質問(抜粋)

教育分野

Q 学校の過大規模化がもたらす教育環境の課題と今後について

『県内に過大規模校は何校あるのか?』
また、過大規模化により、学習面では、子供の活躍する機会の減少や児童生徒間の人間関係の希薄化および、きめ細やかな指導が困難にあること。
次に施設面においては、児童生徒一人当たりの校舎・運動場等面積の狭隘化や利用調整の困難に伴う教育活動に支障をきたすこと。

そして、教職員の確保など必要とされる指導力の確保や学校運営全般マネジメント力の低下が懸念されており、その影響は、学校教育の根幹である児童生徒の確かな学力・豊かな心・健やかな心身を育むことに大きな影響を及ぼしかねず、既に各校で顕在化している課題については、迅速に教育的配慮を加える必要があるものと認識する。これらの教育的課題に対して、どのように取り組まれるのか?



A 県内には小学校17校、中学校7校あり。大津市・草津市・守山市に多い状況。

滋賀が目指す教育の実現のために、県教委として精一杯に努め、関係する市の教委と相互に協力し、教頭や養護教諭の複数配置や学校運営全般において指導・助言に努め、過大規模校の様々な課題に対して取り組む。

用語解説

※過大規模校とは

文部科学省手引きによると「31学級以上」の学校。速やかにその解消を図るよう設置者に対して促している。
県内小学校は17校の内、大津市9校
(瀬田・瀬田北・瀬田東・青山・晴嵐・平野・唐崎・堅田・志賀)
県内中学校は7校の内、大津市3校
(瀬田・瀬田北・打出)

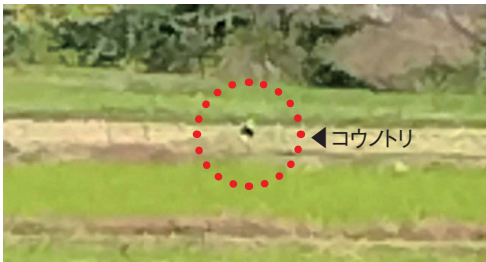
県外県内調査報告(抜粋)

① 環境・農水常任委員会

「たじまJA

「コウトリ育む農業」について

人と自然が共生する自然農法を確立されていた。このたびの調査を通じて、農薬の安全性の再評価が行われるなか、更なる農薬使用の削減を推進していく本県の取り組みへの参考にしていく。



コウトリ育む農業の様子

▼農研機構西日本農業研究センター

「スマート農業」について

農業の課題の解決と地域活性化を目指し、近年、重点的な取り組みとして「スマート農業の推進」の研究技術開発を行われていた。このたびの調査を通じて、びわ湖に優しい農業に適した技術が本県と連携し、実証されており、その普及に期待する。

この他、

▼JA福山市「食と農の交流館」

「地産地消の促進と振興」について

▼佐賀市下水浄化センター

「下水道「ノンプラステ化事業」について

調査を行ってまいりました。

② 公共交通・国スポ・障スポ大会

対策特別委員会

「富山県議会・福井県議会 地域公共交通の維持活性化の取り組み」について

両県共に地域活性化には、公共交通の維持活性化が重要であるとの考えの基で、乗継拠点の統合整備や1丁運行システムの導入など利用者の利便性の向上につながる環境整備には積極的に公費を投入し、結果、利用率の向上が図られ、経営の安定に寄与している。
このたびの調査を通じて、ダイヤ改正や乗継拠点の充実などの利用者にとり使いやすい「地域交通」の役割を日々高めていくことが重要であると改めて強く認識しました。

この他、

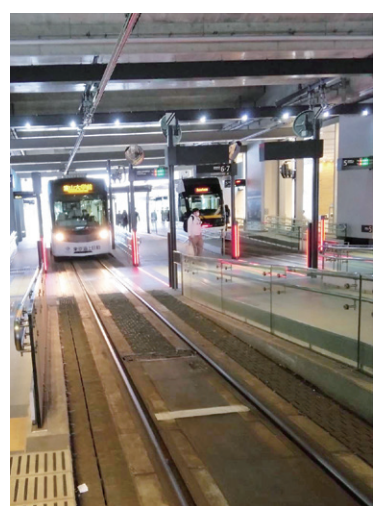
「福井県議会 国民体育大会・全国障がい者

スポーツ大会後のスポーツ振興」について

「京阪電気鉄道株式会社大津営業部 地域公

共交通事業者の取り組み」について

調査してまいりました。



とやま駅の様子

滋賀県議会議員 桐田まこと

環境・農水常任委員会委員
公共交通・国スポ・障スポ大会
対策特別委員会委員

生年月日：1977年(昭和52年)3月19日生まれ 妻と娘2人の4人家族

- 大津市立瀬田小学校卒業
- 滋賀県立大津商業高等学校卒業
- 民間企業勤務
- 大津市立瀬田北中学校卒業
- 立命館大学経済学部経済学科卒業
- 山下英利参議院議員秘書

■第95代大津市議会 議長 (令和3年度)
 ■自民党滋賀県連青年局長 (令和元年～令和3年)

Twitter: QR: Facebook: QR:

ホームページ 桐田まこと

連絡先 大津市大江7丁目7番32の3号 TEL/FAX 077-547-4800



通学歩道が完成しました。
7年前に児童からいただいた要望が実現しました。



新しい「いちご」できました。
5年の歳月をかけて滋賀県初となる新品種育成。

トピック